

文京すずめ

2024年(令和6年)
11月11日(月曜日)
第190号
発行:文京手話会
代表者:鈴木 節子
編集:広報担当



<http://bunkyoshuwakai.sakura.ne.jp>

50周年記念大会

2025年7月26日開催(予定)

手話を広めるチャンス

「文京区手話言語条例」制定や「デフリンピック」など手話が話題になっています。文京手話会50周年記念大会は手話を知ってもらいたい良い機会です

手話を知らない 手話とは関係ないと思っている人も楽しめる大会を目指し、アイデアを出し合い会議を重ねています

- ・舞台発表
- ・ブース設定
- ・記念誌作成
- ・記念グッズの作成



などに取り組んでいます

全員参加

私たちの「手話の記憶」に残る大会を創りましょう

文京手話会50周年記念大会は皆で創る
文京手話会会員全員で創りましょう

様々な理由で大会当日、参加が難しい方もいると思います
是非、準備に参加し大会と一緒に創っていきましょう

40周年から10年が経ちました
この10年間の写真を探しています

こんな団体を呼びたい!
こんな記念グッズが欲しい!など
アイデアをお聞かせください

50周年記念大会実行委員会

委員長:鶴岡伸幸

委員:【昼】大澤あかり・菅家聖子・二瓶恵・堀内直美・山崎美幸

【夜】池田京子・岩田ゆか・加藤江美・斉藤麻妃・櫻庭登貴子・柳澤章江・山本卯多子

現在昼のメンバーは記念誌、夜のメンバーは舞台発表を中心に考えています

行事班主催の見学会に行ってきました。
光が丘駅～現地までの道のりは行事班の方々が案内係として立っていて、地図無しでも到着することができました。 感謝 感謝。

《歴史》

- ・ 1943年 陸軍の成増飛行場ができる
- ・ 戦後 グランドハイツになる
- ・ 1969年 光が丘という地名になる
- ・ 1973年 日本に返還される
- ・ 1983年 旧光が丘工場竣工
- ・ 2016～2019年 解体
- ・ 2021年 現在の清掃工場稼働開始



《ごみの流れ》



各家庭から集められたごみを積んだ収集車は、計算機でトラックのまま重さを量る



入り口のアナウンスで、プラットホームに誘導される



ハンガーゲートからごみバンカにごみを投入する



ごみバンカに貯蓄されたごみは、ごみクレーンで攪拌され焼却炉へ投入
(ダイオキシン抑制の為、**800℃以上**の高温で焼却される)



ごみ焼却後に発生する焼却灰は、埋立処理されているが、限りある処分場を長く使用していくために、再利用の取組もしている



ろ過式集じん器等の設備により、焼却時に発生する有害物質を除去して外に出す

見学メモ

★中央制御室

工場内の危機の監視&操作を行っている

24時間体制（6人/4班）で、PCでのチェックと工場内の見回りも行う

★ごみの焼却により発生する熱エネルギーは、工場内で利用し、余った分は、電気業者へ売却する

★ごみの分別はきちんとすること→機器の故障や、稼働を止めることにつながる

★3Rを心がける **Reduce**（ごみになるものを減らす）

Reuse（再利用）

Recycle（資源として生かす）

見学会後、ごみに対する認識を、再確認しようという声が上がりました



（昼 古田中）

『もっともっと知ろう デフリンピック』

昼・映像班企画 令和6年8月26日

いよいよあと446日！そう、8月26日から数えて来年11月15日《東京2025 デフリンピック》までの日数です。今のうちにデフリンピックについてもっともっと学んじやおう！といろいろな切り口で情報提供がされた企画でした。



◆期間は？・・・2025年11月15日～11月26日

◆会場は？・・・東京を中心に17ヶ所で開催。

例えばサッカーは福島、自転車は静岡、オリエンテーリングは伊豆大島と日比谷公園・・・など

◆視覚的な情報保障・・・スタートランプなどのフラッシュランプ、審判がルールを促すための旗による合図、開閉会式では大型ビジョンに映し出される国際手話など

◆2025年のデフリンピックはなんと100周年！・・・1924年（大正13年）第1回フランスのパリ大会に参加した国は9カ国。日本が初めて参加したのは1965年の第10回アメリカワシントンDC大会。前の東京オリンピックの翌年ですね。

今大会は70～80ヶ国の参加が見込まれています。

◆夏季の競技数は21競技。**オリエンテーリング、ボウリング**などデフリンピックならではの競技もあります。

◆おもしろい特徴では、バスケのチームは選手ごとに聴力の違いがあるため**チーム共通の手指サイン**で試合中の指示を出すようです。

◆応援の仕方もさまざま・・・床を踏み鳴らしその振動で応援を伝える。団扇やタオルなどはまるでアイドルのライブみたいですね。撮影時のフラッシュライトは競技進行の際に紛らわしいのでNGとのこと。

◆公式マスコットを知ってますか？・・・**〈ゆりーと〉**です。スポーツ祭東京2013のキャラクターとして誕生し、東京都スポーツ推進大使として活躍。



今大会では桜の花弁がモチーフとなっている大会エンブレムに合わせて桜色のTシャツを着ています。

◆デフリンピック・ボランティアに参加しよう！・・・2024年11月ごろボランティア募集開始が予定されています。（昼 斎藤）

三二講演会（夜サークル）



※演者：早期より文京手話会を支え続けている先輩会員の皆様。

7/29(月)、企画班が企画した 50 周年三二講演会を開催しました。実際には“三二講演会”とは言えないぐらい豪華な方々をお招きすることができました。開催時間が夜 7 時からにも関わらず、10 年以上ぶりに参加して下さった方がたくさん観に来ていただけたこともあり、熱く盛り上がった夜となりました。



巧みに話題を進める名司会からはじまり、さすがと言わんばかりのレジェンドの皆さんが息もぴったり掛け合いが上手で、すぐにお話に引き込まれていきました。

講演の内容は主に手話との出会い、文京手話サークルに入会したきっかけ、どんな思いを持って文京手話サークルで活動したか、などなど。当時を振り返り、みんなで協力しながらろう者とともに歩んできた軌跡を知ることができました。

私が一番心に残ったお話は、

『誰のために通訳しているか』

というお話しです。通訳者として、正しく伝えることはもちろん重要ですが正しく伝えることだけに囚われてはいないでしょうか？

「正しく、わかりやすく聾者に伝わる手話通訳をする」

忘れてはいけないことだと改めて思いました。

紙面の関係から割愛させていただきますがどのお話も楽しく為になるお話をたくさんお聞きすることができました。レジェンドの皆様にお礼を申し上げます。また、司会をしていただきました遠上さんありがとうございました。 (寄稿・夜 高橋)

レク班企画 秋のおさんぽ

9月16日(祝)朝10時に両国駅を出発し、東京スカイツリーまでの約2.5kmを歩きました。雨が心配されましたが、お散歩中は一度も雨にあたらず、昼・夜クラスのメンバーが混ざって、楽しく歩きました。参加者は30名!その様子をお伝えします。



まずは『**横網町公園**』へ。ここには関東大震災、東京空襲の犠牲者の霊を供養する東京都慰霊堂があります。参加者の中に、歴史や地域のことを知る方がいて解説を聞きながら見学しました。



続いて『**旧安田庭園**』へ。サルスベリがきれいに咲き、池には鯉やサギがいて、自然に癒され休憩しました。



両国駅前の家康の後ろ姿を眺め、北斎通りを進む途中には北斎美術館や相撲神社が見えました。しばらく歩くと錦糸町駅が見え、左を向くと東京スカイツリーが!参加者の方がもってきてくれたお菓子をいただき、休憩してからだんだん大きくなっていくスカイツリーに向かって『**大横川親水公園**』を進みました。途中釣りをしている方が大きな魚を見せてくれました。



そして『**東京スカイツリー**』の真下でゴール。



ポイントで止まるたび、場所の説明や集合時間などを手話やホワイトボードを使ってみんなに知らせる、並んで歩きながら、ろう者や先輩方から手話を教わるなど、手話会ならではの散歩の景色でした。参加者の方も、「楽しかった」「参加して良かった」と笑顔で解散。

参加者のみなさん、レク班のみなさん、ありがとうございました。

(夜・レク班)

「防災班企画」振り返り

9月2日に夜サークルで「防災班企画」を開催しました。
文京手話会ならではの楽しい企画を振り返りたいと思います！



【ものづくりグループ】

実際に**クッション**を作り「プレゼントです」と言った事で場の雰囲気や和やかになりました。**ランタン**の実験は、好きな色を選択しても良いという発見になりました。**牛乳パック椅子**は体格の違う人に座ってもらい耐久性を確認する等、企画者とうろう者、聴者が一緒に楽しむ事で一体感が生まれました。

【体操グループ】

災害時は体を動かす機会が減る為、いつでもどこでもできる運動を紹介。ペアになって腕を振り肩甲骨の動きを確認したり、足指じゃんけん・足じゃんけん大会をしたり、新聞紙を片手で丸め、それを投げ入れるゲームをしました。皆で体を動かし、数分だったのに体も心もぽっかぽかと言うより汗だくに！



【クイズグループ】

14問出題準備をしましたが、時間が足りず途中をカット。進行しながらの判断で慌てましたが、そこが面白かったのか、参加者からは笑いやツッコミが起き、楽しい雰囲気になりました。焦って早口になった事・練習した手話表現ができなかった事・参加者のツッコミに手話を付けられなかった事が残念でした。

参加者からも「楽しかった」と嬉しいお言葉を頂きました。一方、「解答用紙の字が小さい」「新聞紙やビニール袋が家がない」と言う、貴重なご意見も。反省点を活かし、今後も防災について楽しく学べるように工夫していきます。

(夜・防災班)

「世界に1つだけの花♪」・・・私が手話と初めて出会ったのは、この手話歌でした。今から約20年前、卒園式の保護者の出し物として練習したことを、今でもよく覚えています。手話を使って歌を表現することに新鮮さを感じ、楽しく取り組んだあの時が、私の手話の最初の一步でした。

その6年後、私は地域の手話講習会に通うこととなります。手話の学習を始めてしばらくした頃、聞こえない方からこんな質問を受けました。

「男性と女性では声の高さが違うって本当？」「人に尋ねる時はイントネーションが上がるの？」「相手の声は優しかった？」。当時の私には思いもよらない質問で、とても驚いたことを覚えています。その方はこうも言ってくれました。「私たちは手話通訳が必要な、頑張る」と。歴史的背景や文化を学ぶうち、単に「聞こえない」というだけではなく、その背後にある苦しみや辛さ、そしてそれでも負けずに生きる強さに気づかされました。それ以来、私でも何かお手伝いできるのではないかという思いが強くなりました。

新しい言語を身につけるには努力は不可欠で、その努力とは「反復」と「継続」です。技術はもちろん大事ですが、手話を使うのは人対人、互いの信頼関係を築くことも大切ではないでしょうか。たとえ拙い手話でも、たった一言でも、相手と本当に心が通じ合えたなら、その喜びは計り知れません。私はそのような瞬間を「自分だけの記念日」として大切にしています。その記念日をもっと増やしたく「寄り添う気持ち」「察する気持ち」「わかり合いたいという気持ち」を持ち続けたいです。

時に挫折も経験しますが、今こうして多くの方々と共に手話を学び、交流できるのは幸せなことです。手話との出会いに心から感謝しています。

(K・K)



- ◇ 11月16日(土) ろう協・サークル合同講演会 会場：文京区民センター2階会議室A
- ◇ 11月30日(土) フミコム活動見本市2024 会場：文京区民センター3A会議室
- ◇ 12月1日(日) 防災フェスタ 会場：教育の森・文京スポーツセンター
- ◇ 12月7日(土)～9日(月) ふれあいの集い 会場：文京シビックセンター1階
- ◇ 12月14日(土) クリスマス会 会場：男女平等センターA研修室
- ◇ 令和7年1月18日(土) お散歩企画「下谷七福神めぐり」

日程		昼	夜
11月	4日	休み(振替休日)	
	11日	学習会	映画会(企画班)
	18日	班活動	学習会(ろう協)
	25日	学習会	班活動
12月	2日	クリスマス会練習	クリスマス会練習
	9日	クリスマス会練習	クリスマス会練習
	14日	クリスマス会 会場：男女平等センター	
	16日	学習会	学習会(ろう協)
	23日	班活動	ミニクリスマス会
	30日	冬休み	
1月	6日	新年会(行事班)	班活動
	13日	お休み(成人の日)	
	20日	学習会	学習会(ろう協)
	27日	学習会	講演会(企画班)

※ 11月から活動場所が**文京シビックセンター5階**に変わります。

編集後記：10月中旬から寒さも増し、やっと秋らしい陽気になってきました。今年のように夏が長いと「春と秋が短くなっていく」とニュースで知り、四季の風情が無くなり寂しさを覚えます。さて、今年には文京区手話言語条例が制定されるなど実りのある年。文京手話会は来年50周年。本大会に向けて講演会などイベントも開催され、「すずめ」でも予告記事を連載。それだけでも心高まるのに、デフリンピックも東京で開かれるなんて、心躍る2025年です。来年も文京手話会にとって実り多い年になりますように。

東京2025デフリンピック：2025年11月15日(土)～2025年11月26日(水)

(夜 大久保)